

ヒメコマツ

Pinus parviflora Siebold et Zucc. var. *parviflora*
マツ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では2地区での生育が確認されている。キタゴヨウとは生育地を異にし、今回新たに準絶滅危惧とした。

分 布

北海道（南部）～九州に分布する。県内では小浜市、おおい町で確認されている。

種の特徴

山地に生える常緑高木。樹皮は暗灰色で不ぞろいの薄い鱗片になってはがれる。冬芽は先が尖る。葉は5本、短枝上に束生し、針形で多少ねじれ、長さ3～6cm。花は5月、毬果は翌年10月に熟し、卵状楕円形。種子は倒卵形、翼は種子本体より短く、折れやすい。

生育を脅かす要因

自然遷移、園芸採取。

参考文献 福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												

ハイマツ

Pinus pumila (Pall.) Regel
マツ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県では亜高山帯に分布する常緑の低木。生育地、個体数とも限定されるので新たに準絶滅危惧とした。

分 布

北海道～本州（中北部）に分布する。県内では大野市で確認されている。

種の特徴

常緑の低木で、幹はよく分枝し、長く地を這って高さはふつう1～2m。樹皮は暗褐色で薄くはがれる。冬芽は卵円形、赤褐色で披針形の鱗片におおわれる。花は6～7月。毬果は翌年に成熟し、柄はごく短い。種子は3角状倒卵形で長さ8mm内外、翼はない。

生育を脅かす要因

産地局限、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

キャラボク

Taxus cuspidata Siebold et Zucc. var. *nana* Hort. ex Rehder
イチイ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は15箇所である。県内での生育地は深山に限られており、生育基盤も脆弱なため、県域準絶滅危惧とした。

分 布

本州の日本海側（山形県～鳥取県）に分布。県内では、勝山市、大野市、永平寺町、池田町、南越前町で確認されている。

種の特徴

深山に生える常緑低木。イチイの変種。イチイに比べ、幹の基部は地に伏し、横枝を広げ、高さは1～2mと低く、葉はやや幅が広く、らせん状に互生するが、ほとんど2列に並ばない。

生育を脅かす要因

生育地の環境の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔（1989a）、福井県植物研究会編（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○	○	○					○	○	